

近未来の世界遺産を目指し、本丸御殿等江戸城全体構想の策定並びに江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくり

## 「VISION 2032」第一次 提言活動のご報告(概要)

新年、明けましておめでとうございます。

日頃より、ご支援・ご協力を戴き、誠に有難く篤く御礼申し上げます。

新しい年を迎えて、皆様は、如何お過ごしでしょうか。



さて、第一次「VISION 2032」提言活動のご報告(概要)を申し上げます。

現在も大規模開発が進められている都市東京において、第一級の学識者による調査研究委員会報告書の策定及び「VISION2032」提言書を通した普及・啓発・提言活動について、行政や各方面から相応の評価を得ているところであります。

第一次提言活動の中核・地域(区)が策定する「文化財保存活用地域計画」については、計画策定委員会を設置し、「大綱」をも視野に取組みが主体的に推進されている区がある一方で、大半の区は策定には至っておらず、特に、コロナ禍の中、計画策定の担当者及び責任者不在など、文化財要員不足が厳しい現実も明らかになっています。東京都が策定中の「大綱」による東京都の方針、区への具体的な支援策、例えば、区を超えた連携のしくみ、財政支援等を期待する声が多々あります。

国民の宝・文化財を中核にした城郭都市東京を俯瞰すべく、東京都の役割と強いリーダー・シッパが求められています。これらの取り組みこそ、まさに、城郭都市・江戸東京に確実に繋がるプロセスであると存じます。

引き続き、さらなる、普及・啓発・提言活動を進めて参ります。(会報誌 15号に掲載)

特別企画では、会員・市民、有識者等の主な声を掲載させていただきました。

お寄せ戴いた声の問題点や課題の検証により、適時、活動に活かしてまいります。

この取り組みは、「VISION2032」運動の歴史を創っていく貴重な記録となります、これからも継続した活動として取り組みます。

「VISION2032私たちの活動の全体像」をご覧ください。

私達の活動の全体像は、会員・市民と有識者との対話を核に、関係機関との合意形成を大切にしながら VISION の実現を目指していくものです。

今後共、ご支援ご協力を戴きますようお願い申し上げます。

2023年(令和5年)1月元旦

理事長 小竹 直隆